

活動分野: 子どもの健全育成

団体名(設立順) 設立年月 活動者受け入れ	活動頻度 活動者数	活動目的	活動内容
奈良地区BBS会  1949 年 4 月 1 日  活動者の受入れ する	月平均 2 日    3 名	BBS 運動の基本に即し、犯罪や非行のない明るい社会の実現を目的とする。	BBS 運動の保護観察中の非行少年や地域の児童・生徒を対象に「ともだち活動(勉強を見てあげたり、相談に乗ってあげたりなど)」や、グループワーク(調理・菓子作りやスポーツボランティア活動など)を実施する。
奈良地区 更生保護女性会  1961 年 12 月  活動者の受入れ する[どなたでも]	月平均 3～ 4 回   325 名	地域社会から非行や犯罪をなくし、過ちに陥った人たちの立ち直りを支援することを目的とする全国組織の女性ボランティア団体。	☆更生保護組織の五団体と協働、協力 (保護司会、更生保護協会、至徳会、BBS 会、更生保護女性会) ☆子育て支援活動 紙芝居、リズム体操などオリジナルの作品で訪問活動 ☆奈良少年院や更生保護施設、至徳会、精華学院などへの支援活動 ☆菓子づくり講習会、手作り講習会 ☆更生保護施設、矯正施設等へ年間を通じて支援活動 ☆その他、福祉活動に協力 ☆総会
奈良子どもの本連絡会  1972 年 6 月  活動者の受入れ する	月 2～3 回   61 名	子どもたちの健全で豊かな成長を願い、子どもの文化、読書環境の充実などを目的とする。また、それらに関わる大人の学び合いの場とする。	・会報「なこれんつうしん」の発行 ・例会の開催 ・学習会(絵本・わらべうたなど)や講演会の開催。 ・奈良県子ども読書活動推進委員会、奈良市立図書館協議会、奈良市社会教育委員会に参加 ・子どもの本に関わる様々なイベントに参加
奈良市 女性ボランティア協会  1975 年 6 月 6 日  活動者の受入れ する	月平均 4 回   9 名	ボランティア活動の促進を図り、明るい豊かな地域社会の発展に寄与するとともに会員相互の親睦を深めること。	託児 映写 文化財 国立療養所 ・文化財は「あすなら市民講座」として市民に呼びかける。 ・国立療養所はさくら病棟の患者さんの生活看護を行う。 ・その他、映写活動は保育園に出向いて上映する。

活動分野:子どもの健全育成

団体名(設立順) 設立年月 活動者受け入れ	活動頻度 活動者数	活動目的	活動内容
<p>奈良県教育振興会</p> <p>1976 年 5 月 29 日</p> <p>活動者の受入れ する〔事務局に問合せ〕</p>	<p>月平均 20 回〔事務局 毎週月～金 曜日〕</p> <p>112 名</p>	<p>21 世紀を生きるたくましい、心豊かな青少年の育成を願う同志を募って子育てについて考え合い、広く県民の皆様には教育についての理解と関心を深めていただけるよう、学校・家庭・地域における教育の振興に役立つさまざまな活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育講演会の開催(年 1 回)</li> <li>・会誌「やまと」の刊行(年 7 回)</li> <li>・「家庭教育講座」の開催</li> <li>・「教育セミナー」の開催(8 月上旬、1 日間)</li> <li>・「雨滴塾」開催(随時)</li> <li>・各地における「学習会」・「講演会」等への協力</li> </ul>
<p>野の花ぶんこ</p> <p>1977 年 4 月 1 日</p> <p>活動者の受入れ する〔子どもの本に関心ある方〕</p>	<p>月平均 6 回</p> <p>19 名</p>	<p>本を通して子どもたちの健全育成を図るとともに、高齢者の生きがい作りのお手伝いをする。</p>	<p>公民館・幼稚園・保育所・小学校・老人施設・子育て広場などで活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの本に関する学習</li> <li>・情報交換</li> <li>・絵本読み、本の貸し出し、おはなし会</li> <li>・本の紹介の講演会に出かける。</li> </ul>
<p>奈良おはなしの会</p> <p>1991 年 1 月</p> <p>活動者の受入れ する〔“おはなし”の勉強経験者〕</p>	<p>月平均 4 回</p> <p>17 名</p>	<p>ストーリーテリング(日本や世界の昔話、創作のおはなしを覚えて語る)を中心に、絵本の読み聞かせ、詩、わらべうた、手遊び等を取り入れたおはなし会を実施。子どもたちの想像力を育み、読書へと導いていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良市立中央図書館 おはなしの部屋(第 3 日曜日)</li> <li>・小学校へのおはなし会実施</li> <li>・ストーリーテリング(おはなし)の勉強会</li> <li>・絵本の勉強会</li> <li>・四季の会:会員による、ゲストを招いてのおはなし会</li> </ul>
<p>奈良人形劇 連絡協議会</p> <p>1992 年 4 月 1 日</p> <p>活動者の受入れ する</p>	<p>月平均 回 〔劇団により異なる〕</p> <p>15 名</p>	<p>奈良の地に、人形劇グループのネットワークを作りお互いの技術を上らせて、子どもたちの健やかな成長を願う文化の裾野を広げることが目的とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なら人形劇ミニフェスタ</li> <li>・例会</li> <li>・会員相互の親睦と技術向上および、連絡に関する事業</li> <li>・その他活動目的を達成するために実施する事業に参加</li> </ul>

活動分野:子どもの健全育成

団体名(設立順) 設立年月 活動者受け入れ	活動頻度 活動者数	活動目的	活動内容
右京おはなしの会  1993 年 4 月 10 日  活動者の受入れ する	月平均 15 ～20 回   22 名	語りや絵本の読み聞かせ、紙芝居・パネルシアター・手遊びなどを組み合わせたおはなし会を実施し、子どもたちの想像性や自主性を育む活動をする。	・こども園(神功・帯解・若草)、右京こだま保育園でのおはなし会(月1回、年長・年少別に 30 分のプログラム)の実施 ・すくすく(発達障がい児の保育施設)でのおはなし会(月1回)の実施 ・右京小学校の朝読(1～6 年生毎に月 2 回)の実施 ・右京小学校放課後こども教室の実施 ・その他、講習会・勉強会への参加
フリースペース SAKIWAI&ふきのとう の会  1993 年 11 月 4 日  活動者の受入れ する[火曜日:女性の 居場所、話し相手・運 営の手伝い 女性(20 才以上)]	月平均 6 回   14 名	学校・家庭・社会に生きづらさ(不登校・ひきこもり等)を抱えた子ども・女性たちが安心して過ごせる居場所を提供し、自分らしく生きる手助けをする。 親たちに不登校・ひきこもり等の悩みや体験を語り合う交流の場・情報を提供する。	★フリースペース SAKIWAI(女性の居場所) ・毎週火曜日 13 時～17 時:月 1 回スタッフ会議、月 1 回食事・菓子作り、他外出や物づくり企画、会報:年 2～3 回発行 ★ふきのとうの会(奈良の不登校・ひきこもりを考える親たちの会) ・交流会:毎月第 2 日曜日 13 時～16 時、通信発送&茶話会:年 2～3 回 第 4 金曜日 13 時～16 時、 ・他相談活動、野山を歩こう会:第 2 金曜日、会報年 2～3 回発行 ★学習会随時開催 ★会員、当事者団体にフリースペース SAKIWAI の利用提供
DEAR DEER- あおによし  1997 年 5 月 1 日  活動者の受入れ する[演劇が好きな女 性]	月平均 4 回   21 名	子どもやその保護者、高齢者、障がい者に対して、演劇活動に関する事業を行い、観劇者に夢と希望と勇気と感動を与え、21 世紀を担う子どもの健全な心の育成と子育て支援の一助となり、さらには高齢者や障がい者が明るく楽しく生き生きと生活できる社会の創造に寄与することを目的とする。	奈良県内や近隣府県の保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校、子育てサークルやデイサービスなどからの依頼を受けて、演劇やおはなし会などの公演を現地に出張して行う。

活動分野: 子どもの健全育成

団体名(設立順) 設立年月 活動者受け入れ	活動頻度 活動者数	活動目的	活動内容
(特非) エコパートナー21  2001 年 6 月 30 日  活動者の受入れ する[子どもの農園活 動のサポート]	月平均 2 回     23 名	子どもたちが健全に育つ社会環境 と自然環境づくりをめざし、地域の あらゆる分野の人々と連携し、青 少年の社会教育に関する事業及 びボランティア参画事業並びに環 境問題への取り組みを通じて、よ り良い 21 世紀社会の構築に寄与 することを目的とする。	農業、自然体験等を通じて、子どもの健全 育成、環境保全活動などに取り組んでいる。 主な活動プログラムは次の通り。 ①年間を通じて野菜作りを楽しめる花畑農 園 ②小学生を対象にした農業体験・自然体 験を行う「こどもエコクラブ」 ③野菜作りの指導を受けながら家族で農 園活動を楽しむ「Vege ファミリー」 ④団体や家族で気軽に楽しむ「いもほり会 員」
子育て支援ボランティ ア アンティーズ  2002 年 4 月 1 日  活動者の受入れ する	月平均 4 回     15 名	複数のサークル同士をつなぐ情報 ネットワークづくり(情報交換の 場)。 親が育ち合うための場所や時間を 提供しながら親も子ども成長するた めの見守りをする。	・子どもの安全を確保しながら、親が一息 つける時間を提供する。 ・奈良市産業政策課、奈良県女性センタ ー、奈良市男女共同参画センター等各諸 団体主催講座での託児支援 ・各サークルのイベント中の託児支援 ・「子育て支援センター」や「つどいの広場」 での一時預かり ・出張託児(遊具持ち込み可)
人形劇団「マリオネット アンド ミュージック」  2003 年 12 月 15 日  活動者の受入れ する[欠員があれば]	月平均 4 回     6 名	コロナ禍での雇用不安や貧困家 庭の増加、医療行政の不備等か ら、身体に多くの障がいをもつ子ど も達が増え、無気力とむなしさだけ が残る時代を迎えている。そこで 私たちは、マリオネットによるミュー ジカルを開発し、子どもたちに「困 難に負けない想像力と好奇心」が 育まれることを願って、文化支援 活動を行っている。	・児童福祉施設・子ども園・保育園・幼稚園 等での文化支援公演活動 ・世界初のマリオネットによるミュージカル ショー公演活動 ・公演のための練習活動: 毎週水曜日 ・子どもたちの施設での公演活動: 月 1 回 目標

活動分野: 子どもの健全育成

団体名(設立順) 設立年月 活動者受け入れ	活動頻度 活動者数	活動目的	活動内容
<p>なら子育てネットワーク</p> <p>2004 年 4 月 1 日</p> <p>活動者の受入れ する</p>	<p>月平均 4 回</p> <p>17 名</p>	<p>「みんなで子育て」出来るような仲間作りの支援をしながら、親が親として育つよう見守り、そのための居場所作りを応援すると同時に支援者を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル相談室を支援センターの中で定期開催</li> <li>・子育てサークル「ちっちゃいもんくらぶ」「ハグハグ」の支援</li> <li>・子育てスポット「いないいないばあ」の支援</li> <li>・子育て支援者育成「支援者研修会」の開催</li> <li>・サークル合同交流会の開催</li> <li>・サークル活動支援と相談室の開催</li> </ul>
<p>奈良 ビーンズサークル</p> <p>2005 年 12 月 1 日</p> <p>活動者の受入れ する〔奈良市健康増進 課に連絡〕</p>	<p>月平均 1 回</p> <p>33 名</p>	<p>ふたご、みつご(0 才～就学前)とその保護者のための育児サークル。</p> <p>親子で体を動かす遊びをしたり、絵本の読み聞かせをしたり、お母さん同士で情報交換して子育て支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者たちは、ふたご・みつごを育てているなかで不安や悩み、楽しさ、子育ての工夫、アイデアなど話し合い交流する。</li> <li>・子育てアドバイザーの先生に助けてもらって、手遊び、リトミック、歌などの活動をしたり、保護者も子どもたちと一緒にあそぶ。</li> <li>・毎月 1 回 育児交流等を開催。</li> <li>・リトミック・劇・音楽(フルート・ピアノ演奏)等を取り入れる。</li> </ul>
<p>奈良のむかし話を 伝承する会</p> <p>2006 年 9 月 1 日</p> <p>活動者の受入れ しない</p>	<p>月平均 5 日 〔昨年度は コロナ禍で 4～12 月は 活動休止〕</p> <p>3 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「奈良の昔話」を「紙芝居」で多くの人(子どもたちを中心に)に伝えて楽しんでもらうこと。</li> <li>・昔話は貴重な文化財産だが、今や失われつつあると言われている。その昔話を紙芝居という子どもにもわかりやすく楽しんでもらえる媒体で伝えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良の昔話の企画・制作 (毎年 1～2 作品を継続して企画・制作する)</li> <li>・自作紙芝居やわらべ歌などの実演、絵本の読み聞かせ など</li> </ul>

活動分野: 子どもの健全育成

団体名(設立順) 設立年月 活動者受け入れ	活動頻度 活動者数	活動目的	活動内容
<p>奈良の民話を語りつぐ会</p> <p>2009 年 6 月 1 日</p> <p>活動者の受入れ する〔民話の講座・昔ばなし大学受講者〕</p>	<p>月平均 2～3 回</p> <p>34 名</p>	<p>奈良の民話を語りや紙芝居などで多くの人々に伝え、楽しんでもらうこと。</p>	<p>1. 「奈良民話祭り」を開催する。</p> <p>2. 奈良市立北部図書館でおはなし会を行う。</p> <p>3. 依頼のあった公民館・学校などへおはなしを配達する。</p> <p>4. 語り手のためのおはなしの勉強会を行う。</p>
<p>おはなしせんと会</p> <p>2010 年 3 月 7 日</p> <p>活動者の受入れ する〔ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ経験のある方〕</p>	<p>月平均 5 回</p> <p>9 名</p>	<p>会員相互のストーリーテリングの技術向上を目指すとともに、ボランティア活動を通して、おはなしの楽しさを伝えていくこと。</p>	<p>月 1 回 定例会</p> <p>月 2,3 回 勉強会参加</p> <p>月 1 回 水曜日午後 バンビホームでのおはなし会</p> <p>年 9 回 小学校昼休みのおはなし会</p> <p>年 1 回 幼稚園でのおはなし会</p> <p>その他 依頼があればおはなし会を実施</p>
<p>なら・おもちゃ病院</p> <p>2010 年 11 月 30 日</p> <p>活動者の受入れ する〔おもちゃ修理に興味のある方〕</p>	<p>月平均 3 回</p> <p>11 名</p>	<p>おもちゃ修理の自主サークルとしておもちゃ病院を運営し、ボランティア活動を通じて地域社会に貢献する。</p>	<p>おもちゃの修理・他</p> <p>〔開院日〕</p> <p>奈良市ボランティアセンター…第 2 土曜日</p> <p>西福祉センター…第 4 木曜日</p> <p>つどいの広場「ノル」…第 3 木曜日</p> <p>南福祉センター…3 ヶ月に 1 回第 2 木曜日</p> <p>他 開院依頼のあった所</p> <p>各開院日におもちゃ修理ボランティアを実施。</p>
<p>シカ食堂</p> <p>2017 年 4 月 15 日</p> <p>活動者の受入れ する</p>	<p>月平均 1～2 回</p> <p>13 名</p>	<p>子どもの居場所づくり 地域の居場所づくり</p>	<p>子ども食堂を通して精神的、経済的に困難な方々とつながることで、子どもからお年寄りまで、地域の居場所を作り、地域コミュニケーションの円滑化、自立支援、相互援助を行う場所を提供する。</p> <p>毎月第 4 土曜日に子ども食堂を開催する。</p>

活動分野: 子どもの健全育成

団体名(設立順) 設立年月 活動者受け入れ	活動頻度 活動者数	活動目的	活動内容
<p>高の原駅前団地(VG) 「絵本読み聞かせの会」</p> <p>2017年5月28日</p> <p>活動者の受入れ する[本会目的に賛同 する方]</p>	<p>月平均2回</p> <p>6名</p>	<p>当会は当団地を中心に、「絵本読み聞かせの会」を開催し、絵本を読み世代を超えた交流をはかり、子どもたちを中心として、楽しく豊かに過ごすことを目的とする。 また、ボランティアのスキルアップに努めるものとする。</p>	<p>・月1回「絵本読み聞かせの会」及び「研修会」を開く。 ・広報として月ごとに「便り」を発行する。 ・自治会、地域情報コーナーの催しに「読み聞かせ」ボランティアスタッフとして協力参加する。</p>
<p>ルフフ子ども食堂</p> <p>2019年4月1日</p> <p>活動者の受入れ する[子ども好きで、子ども食堂やボランティアに関心のある方]</p>	<p>月平均1回</p> <p>8名</p>	<p>・子どもの居場所づくり。 ・現代の食生活において問題視される「孤食」に対して、季節に合わせた食材と身体にやさしい素材でつくるごはんを皆で食べる。おやつやお茶も季節に合わせて手作り。 ・化学調味料無添加。</p>	<p>・月1回の子ども食堂 ・居場所づくりと食育 ・食での人とのつながり</p>
<p>(特非) フードバンク奈良</p> <p>2020年1月10日</p> <p>活動者の受入れ する</p>	<p>月平均12回</p> <p>19名</p>	<p>子ども食堂や地域のサロン活動への食品供給を通じて、地域のコミュニティづくりを支援するとともに、関係機関や団体と連携し、だれもが食を分かちあい心豊かに暮らしている社会の創造に寄与することを目的とする。</p>	<p>1.フードバンク活動事業 2.フードバンク、食品ロスなどに関する普及活動事業 3.フードバンクに関わる関係機関・団体との連絡調整事業 4.その他、目的を達成するために必要な事業</p>
<p>奈良支部 チャリティーサンタ</p> <p>2020年6月</p> <p>活動者の受入れ する[一年間運営スタッフをしたい方または、クリスマスイブにサンタさんになりたい方]</p>	<p>月平均1～2回</p> <p>3名</p>	<p>・子どもたちに愛された記憶を残すこと。 ・社会全体で子どもを支え合う気運を醸成していくこと。</p>	<p>クリスマスイブの夜に、サンタクロースに扮したボランティアがお子様のいるご家庭にプレゼントと夢を届ける活動をしている。 子どもたちが一年間頑張ってきたことをほめたり、来年頑張りたいことを応援したりしている。 いただいたチャリティー金は、世界中の困難な状況にある子ども達の支援に活用される。</p>